

『同和教育をベースに』

夏の四同研特別分科会の三輪先生再び四日市へ

2月11日(日)天白第二集会所にて、見出しの滋賀

県近江八幡市立八幡西中学校教諭の三輪邦雄先生をお

招きし、本年度2回目の社会同和教育講座を開催しまし

た。今回は、三輪先生の講演が聞きたいと日永地区以外か

ら参加していただいた方もあり、これまでにない盛況の

中開催することができました。会場は、先生の熱意溢れるお話に引き込まれ、先生

と参加者の皆さんが、一体化していくようにさえ感じました。先生の貴重な数々の

経験から、同和教育の大切さや差別の現実から目をそむけない、先生自身の人との

関わりの中で一緒に生きていくという強い思いを感じることができました。

お話のひとつに『人との関わりにおいて、「相手の気持ちを考えて」「相手の立場

に立って」などと耳にしますが、実際には相手の気持ちはわからないし、相手の立場

に立つこともできません。だからこそ、自分から相手の言葉を聞いてお互いの思い

や行動の背景などを伝え合い、相手との関係性を築いていくことが、人と人がつな

がる上で大切な行動なのです。同和教育の中でずっと言われてきたのは、人と人の

関わりです。正しいことを指摘したり、正したりするだけでは、差別をなくすつな

がりにはなりません』という一説が印象的でした。最後

に、自分自身が人とつながりそして人と人をつなぐため

に、目の前の一人と向き合うこと、深くかかわることを

大切にしていきたいとの思いが、心に深く刻まれました。

